

WEB TOOL (K u d u) の説明

2005/11/16

IHE - J
テクニカルコーディネーター

渡辺 昌彦

WEB TOOL (Kudu) を使用する

- ◆ Yoshiwatan.homeip.net/japan2006/ にアクセスする。
- ◆ Log -In: “ihejuser” Password: “iehj2005”



ベンダーおよびシステムの登録・確認 (Registrationメニュー)

- ◆ ベンダー登録画面で会社名、略称(ニックネーム)と連絡先メールアドレスを登録し、その後、コネクタソンに参加するシステムを登録する。会社の代表や連絡先等も登録できる。
- ◆ システム名を登録し、参加ドメイン、申請する統合プロフィール、アクター、オプションを全て登録する。
- ◆ 登録システムのアクターと統合プロフィールのオーバービューを確認

ベンダーのシステム構成の登録・確認 (Configurationメニュー)

- ◆ Systems画面で各システムのホスト名、HL7アプリケーション、DICOM AEタイトル、ポート番号などを確認し、必要があれば変更する。確認しないとNetwork画面で確認済みにならない
- ◆ 他社のシステムの上記情報はNetwork画面で知ることができる

テストの実施と結果の確認 - 1 (Connectathonメニュー)

- ◆ Main Connectathon 画面で対象システムの選択とテスト項目の選択 (Select) を行う。またこの画面でテストの進捗状況がわかる。
- ◆ 実施中でない(どこのステイタスにも番号が入っていない) テスト項目を選択をすると対象となる可能性のあるパートナー (テストできる状態にあるもの) が表示され、相手を選んでテストを開始できる。
- ◆ テストの進捗は先ほどの画面 (Main Connectathon 画面) でテスト番号をクリックすると該当テスト項目のテストステップが表示されステップごとに確認して行くことができる。ただし、ステップの状況を変更するのはテスト当事者で必ず一社に限る。

テストの実施と結果の確認 - 2 (Connectathonメニュー)

- ◆ テスト項目の内容はTest Information画面で確認できる。
- ◆ 一通りテスト項目が終了したら、PMを頼んでベリファイを要求する。
- ◆ PM立会いの下、テスト項目の結果を確認し最終的にベリファイをしてもらう。
- ◆ Result Matrix画面で、各システムごとの申請したアクター / 統合プロフィール・ペアの最終結果などがわかる。
- ◆ システムを申請された統合プロフィールごとにソートしたリストがVendor Grouping画面で表示される。それにより、予め自分の相手を見つけておくことができる。